

クリアファイルなど販促品の企画製造のパイオニア 共栄商事株式会社

PPファイルやバインダーの企画製造において業界の草分け的存在の共栄商事株式会社。オリジナルを始め、販売促進用や医療機関などのカルテ用のクリアファイルなど幅広く質の高い製品を生み出している。

創業は1976年。大阪市西区で代表取締役の南恒孝氏が印刷・販促用品の商社として始めた。「最初は紙を仕入れて販売する商社機能だけでしたが、お客様のご要望で紙だけではなく、PPファイル加工などのご要望が徐々に増えていきました。加工先を探して頼んだりしていましたが、お客様の声にすぐに対応できるように自社で加工も行いたいと思うようになりました。」

そして、1987年に超音波加工の機械を導入して大阪市東住吉区に移転し、工場を建設した。

お客様からの要望は断らない 必ず応える姿勢で信頼を築く

南氏のモットーは「お客様からのご要望にできるだけお応えする。」だ。予想外のことが起こっても従業員一丸となって、確実に納品することを優先しました。お客様の信用を裏切りたくないですからね。

お客様からの難しいと思われる要望や新たな製品を生み出す課程で発生したハプニングにも「必ず何とかする。」という気持ちで応え、信頼を培って確実に業績を伸ばしてきた。

しかし、時代とともに紙の加工受注が徐々に減少する。そこで南氏は受注が伸びてきたポリプロピレン（PP）製のクリアファイルやクリアケースの製作に向けた機械の導入を決め、1990年に羽曳野市伊賀へ移転。さまざまなサイズや形状に柔軟に対応できる本格的な大型菊全抜き機を設置し、量産体制も整備した。

また、環境に配慮した製品を届けるため、早くからエコマーク認定素材を導入し、時代に即したモノ作りを心がけている。

多彩なPPファイルやバインダーの企画から製造まで一貫体制が強み

同社の主軸プロダクトはオリジナルのクリアファイルだ。例えば、製薬メーカーの新薬発表会に使われるレポート用紙とボールペンのセットや、住宅メーカーが販売資料を入れるPPバインダーなどがある。

ほかにも映画館で販売されるクリアファイルや下敷きなども取り扱っている。あらゆる有名メーカーの販促品製作も行い、プロモーションやオリジナル商品など、さまざまな用途で活躍している。

また、収納力をアップしたクリアファイルや、医療機関などで活用される多機能型ファイル、カードポケットや見開きファイル、書類に合わせたファイリングができるクリアファイルなど、お客様が必要なモノを形にするオーダーメイドの商品作りを行っている。

企画から製作・製造・検品・梱包・出荷まですべての工程を一貫して行っているため、スピーディで高品質な商品を提供できることが同社の強みだ。小ロットの場合やデザインからの受注などお客様のニーズに合わせた対応が可能だ。

販売促進効果が期待できるアイテムが充実

機能性と実用性を両立した商品だけではなく、PPの特製を活かしたオリジナルパッケージやイベントで使用されるさまざまな配布物の製造も行っている。例えば、折りたたみ式のブックスタンドや、商品封入用のPP製の袋のほか、手さげ袋やメモ・付箋といった紙製のプロダクトも製作可能だ。



製薬会社からオーダーいただくPP封筒とレポート用紙とペンを組み合わせた講演会セット

また、販売促進として本来の機能とは違った意外な使い方ができる商品も提案している。手さげ部分を取り外すとA4用クリアファイルとして使えるファイルバッグは同社人気の販売促進商品だ。

「バッグとして使用した後もクリアファイルとして手元に残るので長期に渡

る販促効果が期待できます。同様に封筒が使用後にクリアファイルになるDMタイプもあります。ほかにはB6サイズのシートから切り取れば三角定規や分度器、直定規の3点セットになる子ども向け定規セットも好評です。クリップなどがセットになったモノやB5やA4などサイズバリエーションもそろえています。」と南氏。

イベント等での配布が可能な商品には、お客様の心を掴むさまざまなアイデアが盛り込まれている。このような販売促進としての効果が期待できるアイテムの提案も行っている。

特許取得のティッシュカバー等新たなアイデアで常に提案を行う

クリアファイルから切り離してポケットティッシュカバーになるアイテムは昨年6月に特許を取得した。カッターやはさみを使わずに素手で切り離せ、簡単に組み立てられるものだ。各広告代理店からの問い合わせも増えている。この商品は、昨年NHKでも取り上げられ、多くの反響があった。

最近、受注が多い商品として、PP製まな板がある。昨年は、1社で250万枚の受注を受けた。普通のまな板と違い、軽くて薄いので、アウトドアなどに持ち運びでき、丸められるため、鍋に入れやすいという所などが人気なのだろう。

今後は繊細な色が表現できる大型のニスコーター付き6色印刷機の導入を予定している。

「社名に込めた‘共に栄える’を目指した商品作りを続けて38年になりました。ここまで続けられたのもお客様や社員、関係者の皆様のおかげです。新製品の特許取得や新たな商品の企画開発に終わりはありません。これからもお客様のご要望や時代の変化を敏感に捉えた新たな商品を提案し、モノ作りにおいても挑戦し続けていきたいと考えています。」と南氏は目を輝かせて今後の展望を語ってくれた。



南代表取締役の愛犬チロルがモデルとなったA4手携えファイルや定規セット

共栄商事株式会社

代表取締役 南 恒孝

〒583-0876
大阪府羽曳野市伊賀1丁目14番1号
TEL : 072(955)3396
FAX : 072(955)3483
<http://www.kyoueishouji.co.jp>



【事業概要】PPクリアファイル、PP・PET・クリアケース、PPバインダー、PPボックス、定規、カード類、ビニール製ファイル、パンフレット、チラシ、手さげ袋、トムソンケース、印刷紙器、PP・PE・OP袋、Uバック・ウエルダー製品、その他ギフト&販促物の企画立案・製造および販売